

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年9月7日

事業所名：るーと

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	現状の空間で安全に楽しく遊ぶことができるような活動を利用人数等も考慮しながら実施しています。	はい:9 (回答率9/10)	スペースについては、確保できているという評価をいただけたため、引き続き安全を考慮しながら活動に取り組んでいきます。
	2 職員の適切な配置	安全に療育ができる人員を配置しています。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、安全に療育ができる体制をとっていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動の部屋と朝の会などをする部屋を分けるなど活動の切り替えをしやすいようにしています。また、視覚支援も用いながら、環境設定を行っています。	はい:9 (回答率9/10) マットが敷いてあるので安心です。	マット等についても安心感を持っていただいているため、物理的な環境面についても安全に楽しく遊べるように整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃や消毒作業の実施。また、ティッシュやアルコール綿はお子さんに届かないところで大人が取りやすい配置にしており、ケアしやすい状況を作っています。	はい:9 (回答率9/10) ティッシュなど子どもが触って困るものは手の届かないところにあるので安心です。	引き続き、清潔な状態を保ちつつ、お子さんに合わせた環境づくりを心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティング等によって、効率的な方法をスタッフ間で相談しながら取り組んでいます。	/	勤務日の違うスタッフ間の意見交換が難しいため、連絡体制の強化やスタッフ研修の日を取ることも検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていません。		必要に応じて実施を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の研修を実施しています。		引き続き、職員研修を実施しつつ、社外研修へ参加しやすい体制作りを行っています。
適切な	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご家族のニーズをお聞きし、お子さんの姿を検討した上で、作業療法士と保育士の両方の視点から支援計画を作成しています。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、職種間での連携を深めながら支援計画を作成していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	お子さんの状況に合わせて、支援するタイミングや活動をスタッフ間で共有しながら計画を作成しています。	引き続き、スタッフ間での連携を深めながら支援計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子さんご家族が望む生活の形に向けて必要な要素を検討しながら、活動を考えています。	引き続き、お子さんご家族のニーズを満たしていけるような支援計画を作成していきます。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援目標やお子さんの姿をスタッフ間で共有しながら支援に取り組んでいます。	引き続き、お子さんご家族のニーズを満たしていけるように、スタッフ間での意思疎通を図りながら支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	作業療法士と保育士がお互いの視点を活かしながら、活動の目的を考え、プログラムを立案しています。	引き続き、職種間での連携を深めながら活動プログラムを立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	水遊びや制作などで季節に応じた遊びを取り入れるようにしています。	引き続き、季節に応じた遊びや要素を取り入れるなどの支援を行っていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムについては、偏りがないように考慮する一方で、お子さんの姿の変化を捉えたり、チャレンジしやすい状況を作るために必要に応じて、意図的に同じ活動を続けることもあります。	活動プログラムの幅を広げるとともに、意図的に固定化している場合には、その意図をしっかりと保護者の方に伝えるようにしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日のお子さんの状態や活動の狙いを共有するように心がけていますが、常に支援開始前に全てができていたわけではありません。その場合は、開始後も安全な支援を実施しながら情報共有を行っています。	ホワイトボード等も活用しながら、支援開始前に情報をしっかりと共有できるように意識していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	お子さんの様子や関わり方など気づいた点について共有しています。	今後も具体的に確実に気づいた点について共有するように取り組んでいきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援については、お子さんの姿や健康状態等の記録を残し、次回の支援時に参考にできるように取り組んでいます。	引き続き、支援につながる記録の徹底を行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画の見直し	定期的なモニタリングの実施及び支援計画の見直しを行っています。	引き続き、定期的なモニタリングと支援計画の見直しを徹底していく。また、必要に応じて、それ以外のタイミングでの見直しも行っています。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	お子さんの姿や支援の目標を把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	引き続き、情報共有も含めてお子さんの支援につながる連携ができるように参画していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用なし	利用なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用なし	利用なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行先の保育園等への引き継ぎ資料を保護者の方にお渡しすること、保育園への訪問を実施しています。	引き続き、お子さんご家族のご意向も確認しながら、移行先との情報共有を行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市のこども発達支援センターとの連携は行っています。研修については、スタッフへ情報を周知し、希望がある場合は出張として参加できるようにしています。	引き続き連携を行いつつ、スタッフの支援の質を高められるように取り組んでいきます。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	お子さん同士の交流は実施できていません。	はい:1、いいえ1、わからない7 (回答率9/10)	今後、当事業所でのお子さんへの支援における必要性を考慮しつつ、あり方を検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民に向けた行事等は実施できていません。		地域のお子さんの居場所の一つとして認知される必要性は感じているため、今後の新型コロナウイルス等の情勢も考慮しながら、どのような形がいいか検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については、見学に来ていただいた時、ご契約時にご説明しています。利用者負担についても重要事項説明書を確認しながら説明しています。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、ご利用者様に伝わりやすい形でのご説明を心がけていきます。
	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画とその内容について、具体的な活動も提示しながらご説明しています。	はい:8、どちらともいえない:1 (回答率9/10)	全ての方に「はい」とお答えいただけていない事実を踏まえ、より丁寧な説明を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	連絡帳や送迎時にお子さんの様子を伝えると共に、ご家庭での対応方法をお伝えしています。	はい:5、どちらともいえない:1、わからない:3(回答率9/10)	「ペアレントトレーニング」として実施していませんが、ご家族のお子さんへの関わり方についての相談等はお子さんの支援を行っていく上で大切な要素であると認識しています。そのため、より良い支援の質や方法を検討しつつ、支援内容が伝わりやすい方法を検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳では文章と写真でその日の様子を具体的にお伝えできるようにしています。また、送迎時にもその日の様子を伝えると共に対応方法や支援方針についてもお伝えしています。	はい:9 (回答率9/10) どんなことをして過ごしているのか、説明していただけるので、安心してあずけることができます。	引き続き、お子さんの状況を共有し、保護者の方との共通理解を徹底していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時のお話の時に悩み等もお聞きし、対応方法や見直し等をお伝えしています。	はい:9 (回答率9/10) 相談をすると丁寧に答えていただけるのでたすかります。	引き続き、子育ての悩み等に対する適切な対応と助言を実施していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4月に座談会を予定をしていましたが、新型コロナウイルスの影響により延期しました。保護者の方の繋がりをつくることも児童発達支援では大切だと考えていますので、機会を作っていけるように取り組みます。	はい:2、どちらともいえない:1、 いいえ:2、わからない:4(回答率9/10) 計画はあるが、コロナがあり難しいと聞いています。 まだ入所して間もないのでわかりません。 親同士でコミュニケーションをとればなんと 思うのですが、バタバタしててむずかしい。	アンケート実施時にはまだ座談会等の保護者交流を実施ができていませんでしたが、8月に座談会を実施しました。今後も定期的に座談会を実施していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情に対する対応体制と方法をお伝えし、利用者様に配布している通信で「ご質問箱」についてお伝えしています。	はい:4、どちらともいえない:1、 わからない4(回答率9/10) 苦情があるかどうかわからないので。	契約時や通信でお伝えはしていますが、周知ができていないため、掲示などをしながら、周知を徹底していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳でのやりとりや通信などの配布、LINEの活用によって意思疎通や情報伝達をスムーズにできるように取り組んでいます。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、意思疎通や情報伝達ができるように連絡帳、通信、LINE、ホームページ等を活用しながら取り組んでいきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に、通信を配布し、情報発信を行っています。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、通信を定期的に発行していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護方針を定めて掲示し、必要事項については契約時に個人情報使用の同意書をいただいています。また、個人情報の含まれる書類については鍵付きの書棚に保管しています。	はい:9 (回答率9/10)	引き続き、個人情報の取り扱いに留意しつつ、事業所の運営を行っていきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	「安全管理マニュアル」として、対応マニュアルを作成しています。保護者の方へは「安全のしおり」を配布し、災害等の対応について周知しています。	はい:9 (回答率9/10)	必要に応じてマニュアルのチェックと改訂を行いながら、周知徹底を進めていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回の避難訓練、消火訓練、年に1回の通報訓練を実施しています。また、年に1回のAEDや心肺蘇生法の研修を実施しています。	はい:5、どちらともいえない:1、わからない:3(回答率9/10) 入所して間もないのでわからない。	避難訓練の実施やAED等の研修について周知しきれてないため、通信などを使って周知を徹底し、安心してご利用いただけるように取り組んでいきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待を防止するためのマニュアルを作成し、スタッフ全員に虐待防止研修を実施しています。		マニュアルはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。研修についても定期的に行っていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画への記載	現在、やむをえず身体拘束を行う状況にないため、計画書等への記載はしていません。また、身体拘束を行う場合の決定については、管理者と常勤保育士で協議の上決定し、マニュアルを作成しています。		マニュアルや身体拘束を行う基準についてはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのある場合、誤食を防ぐため、座る机を離し、介助者もそのお子さんのみに関わるようにして対応しています。		引き続き、安全を確保しつつ、楽しく食べられる環境を整えていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、あらかじめ定めた書式に記載し、スタッフ全員で回覧し、それぞれが気づいたことを記入しています。		引き続き、ヒヤリハット事例集の作成と回覧による共有を徹底していきます。